

## オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2009年11月22日現在

概況 オレゴン州の2009年11月22日に終る1週間は、低温・湿潤気象となった。Willamette Valleyの気温は前週より多少上がり、最高気温は58～61度F、最低気温は32～39度Fであった。同地区の1週間の降水量は1.43～4.16インチであった。NC地区の最高気温は49～61度F、最低気温は27～31度Fであった。EC地区の平均気温は平年を2～6度F上回った。1週間の降水量は0.12～0.41インチであった。1週間の州平均農作業稼働日数は3.6日（前週：3.9日）であった。Topsoil及びSubsoilの土壌水分は前週より“Surplus”が増え、“Adequate”が減少した。更にSubsoilの土壌水分は“Very short”が減少した。2010年産冬小麦は、11月22日現在全州の95%（昨年：69%、5年平均：83%）にて出芽した。出芽は昨年並びに5年平均より早い進捗であった。冬小麦の作柄は、前週より多少改善した。土壌水分が例年より良好である為、小麦が休眠に入る前に順調な生育を期待できた。

## 土壌水分(\*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	1	12	58	29
	Last week	5	11	66	18
Subsoil	This week	6	24	56	14
	Last week	12	25	54	9

## 冬小麦の生育状況(\*)

Winter wheat(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr. Average
Emerged	95	82	69	83

## 冬小麦の作柄状況(\*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	0	46	46	8
Last week	0	0	47	45	8

\*) Source: National Agricultural Statistic Service, USDA-Oregon Field Office. 5-yr average means average of 2005,2006,2007,2008 and 2009 crop years

2010年産小麦の作柄及び気象概況報告は、当該報告の後は2010年4月まで月刊報告となります。12月の概況報告の時期は、2010年1月の初めの予定です。